

## 七月のことば

ある動物園で飼われていた大きな鷺の話です。その鷺の爪はだらしなく伸び、くちばしは干からび、大きな羽は艶がなく、獲物を狙う鋭い目はとろんとしていた。鷺としての力強さも威厳もない姿を哀れに思った動物園の園長は、飛び立てるように鉄のゲージの扉を開けてあげました。しかし、鷺は全く動きませんでした。ある日のこと、一羽の大きな鷺が動物園の上に現れました。上空を舞っていたのですが、その鷺は突然にこの力のない鷺に向かって急降下してきました。すると不思議なことが起こりました。檻の中の鷺の目が輝き、羽に精気がみなぎる、爪に力が入り、声を発したのです。そして、羽を大きく広げ、颯爽と大空へ舞い上がり、もう一羽の鷺と一緒に悠々と去って行ったそうです。

動物園の孤独な鷺は、自然界のほかの鷺と出会うことによつて自己に目覚め、鷺本来の姿になりました。人もまた、様々な他者と出会うことによつて自分の長所や性格を発見していきます。他者は自分の姿を浮き彫りにしてくれる鏡です。

7月後半から8月いっぱい、光のこどもたちは夏休みを過ごします。普段出会う人々とは違う様々な出会いをたくさんしてほしいと願っています。そして自分の成長につなげてほしいと思います。皆さまのお守りの中で、楽しい夏休みを過ごすことができますように。

『主に望みをおく人は新たに力を得、鷺のように翼を張つて上る。走つても弱ることなく、歩いても疲れない(聖書)』

## ◎七月の保育目標 『楽しい夏』 ～心ひらかれて～

【聖句】「わたしは、ぶどうの木、あなたがたは、その枝である。」

- †暑さに留意し、夏の生活を送る。
- †色々なものを使って遊び、興味や関心を広げる。
- †自然の不思議さに目をとめ、関心を持つ。
- †友達と共に好きな遊びをたっぷり楽しむ。
- †七夕を迎えて飾りを作ったり、星、空、宇宙に目をむける。
- †夏の小動物をよく観察する。
- (かに、蛙、くわがた、かたつむり、かぶとむし、青虫、蝶、せみ、亀など)
- †土・砂・水に親しみ、心を解き放つて遊ぶ。

## ◎七月の行事予定

- 四日(水) 学校ワークショップ『じぶんの歴史』
- 五日(木) 保育参観日
- 七日(金) お誕生日会
- 十一日(火) 工作教室
- 十三日(木) お話クラブさん読み聞かせ
- 十九日(水) 避難訓練(不審者想定)
- 二十日(木) 第一学期終業式
- 二十二日(土) 夕涼み会(チヨビコ夜市参加)

- ★英語教室 三日(月)
- ★茶道教室 十八日(火)
- ★体操教室 五日(水)
- ★絵画教室 十四日(金)

～夏休みの予定～

二一日(金)・二四日(月) 個人面談(希望者)

二六日(水)～二七日(木) お泊り保育(年長組)

※今年はお東市のベイランドホテルに宿泊します。

## ◎六月の行事報告・様子

☆9日(金)、一足早い花の日の礼拝を守ることができました。お花の少ない時期ですが、各ご家庭や教会の方がお花を持ち寄ってくれたり、いつもお世話になっている方々や近所の方に、感謝のお花をお届けすることができました。『いつもありがとうございます』の一言を添えて、お花を手渡しました。讚美歌『ちいさなこに』のお歌のプレゼントも皆さん大変喜んでくださいました。市長室訪問と堀先生の施設訪問の様子がケーブルテレビで放映されました。

☆12日(月)、サツマイモ(シルクスイート)の苗を植えることができました。今年は、前年度の父の日事業で整備して頂いた砂場横の『ししらゆりファーム』に10本の苗を植え付けました。たった一本のつるが、秋には大きな実を実らせてくださる皆さまの恵みを体験したいと思います。

☆18日(日)、父の日礼拝には、園児4名、お父さん、お母さん、ご祖父、幼児、小学生10名が集い、ともに礼拝を守ることができました。礼拝後、子どもたちは感謝の気持ちをこめた歌や、お父さんのお顔を型どった手作りクッキーのプレゼントも手渡すことができました。幼い子どもから『ありがとう』の言葉を添えてのプレゼントを受け取ったお父さんのうれしそうなお顔がとても印象的でした。このような機会を通して親子、家族の絆がますます深く、強くなつてくださることを喜ばしく思います。感謝！

☆30日(金)、父の日・母の日礼拝にお捧げ頂いた献金を持って郵便局まで『皆さまのお手伝い』をしに行ってきました。送金先は、去年に引き続きウクライナ救援募金です。(¥13,200) 困っている方々のこと知り、いつもそのことを覚えてお祈りできる光の子どもになって欲しいと願っています。

～お知らせ～

◎夏期保育は八月二日(水)～四日(金)です。  
◎夏休みの預かり保育申込書を配布します。希望される方は、折り返しお申し込みください。



『花の日礼拝』 2023. 6. 9